

震災遺構・保存活用専門部会における活動報告

1. 専門部会の目標

- 震災遺構リストの随時更新をおこなう。
- 震災アーカイブの活用。
- 熊本県震災ミュージアムとの連携。
- 震災遺構の活用を図る。

2. 目標達成に向けて今年度実施した取組

- 保存活用の可否を反映した「震災遺構リスト」の更新
 - 「震災遺構リスト」の更新と共有
 - 震災遺構滅失への対応→記録保存によるアーカイブ化
 - 震災遺構保存の可否について関係機関と協議→復旧・復興事業との調整(随時)
- 震災アーカイブの活用に向けた基本的な考え方を整理
 - 地方創生推進交付金を活用した震災アーカイブの拡充
 - 図書館司書によりアーカイブの取組事例の発信(館内展示・報告会)
- 熊本県震災ミュージアムと連携し、震災遺構の活用方法について検討する。
 - モニターツアーへの対応
 - 他市町村との連携を図る→説明サイン内容等検討
 - 地域拠点として「ミナテラス」・「四賢婦人記念館」を活用
- 震災遺構の活用方法について検討する。
 - 教育旅行や視察対応に伴うガイド・語り部の養成を図る。
→2月7日東京都立高校を受け入れる。
 - ガイド内容をマニュアル化し、震災遺構の活用方法の統一化を図る。
→防災・減災教育に活用すべく、益城町が伝えたいことを明確化する。

3. 今後の取組予定

- 布田川断層帯の保存と活用を図る。
- 震災アーカイブ化への取り組み。
- 地域拠点としての四賢婦人記念館の活用